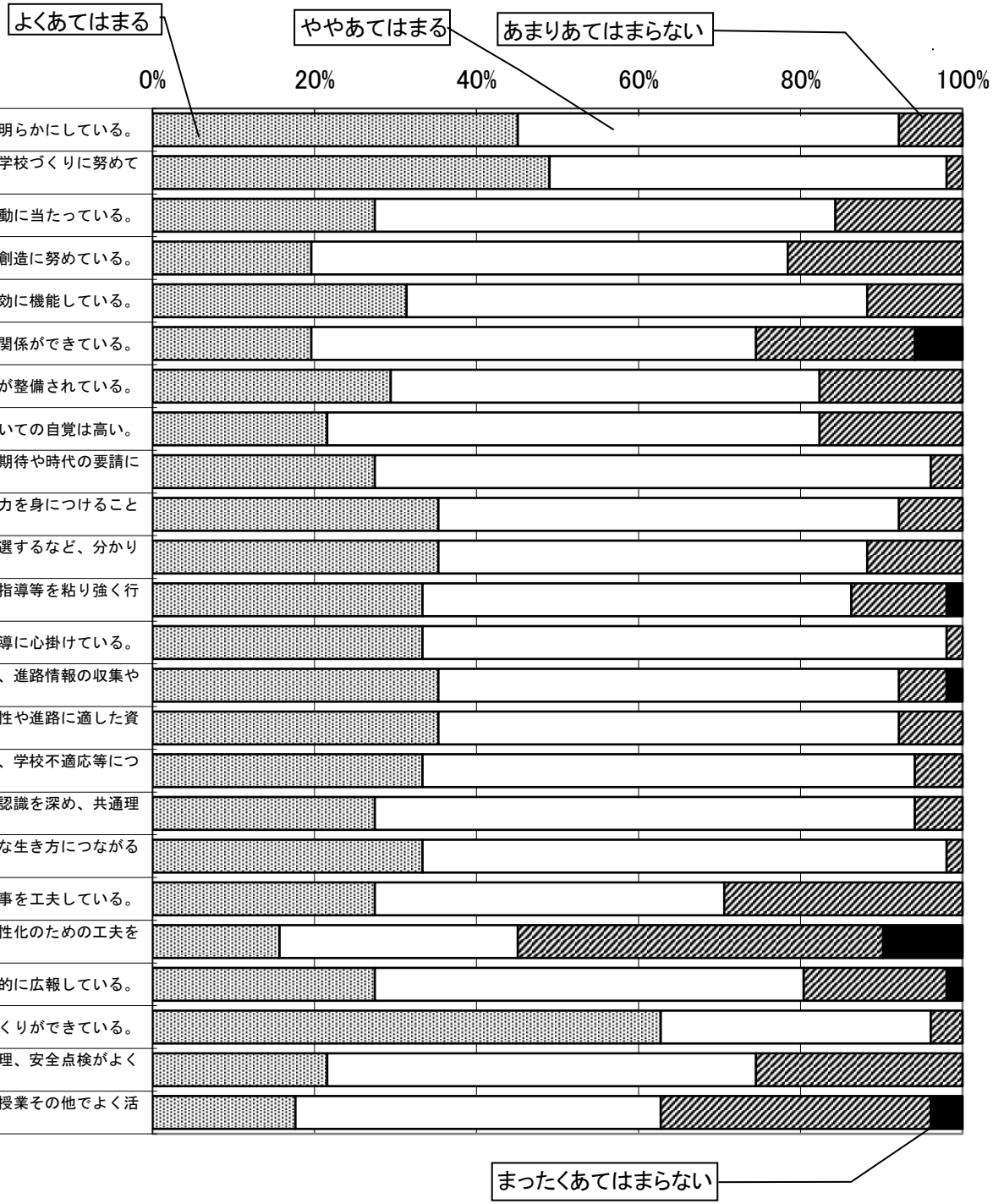
令和3年度学校評価結果（教職員）：令和3年11月



1 校長は、教育方針や学校運営についての考え方を明らかにしている。
2 学校は、伝統や校風を大切にしながら特色ある教育活動を進めるとともに、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。
3 各分掌や学年団間の連携が円滑に行われ、教職員が互いによく協力して日常の教育活動に当たっている。
4 学校は、適性に応じた校内人事や校務分掌の分担をするなど、教職員が意欲的に取り組める環境の創造に努めている。
5 職員会議をはじめ各種会議が、情報交換や課題検討の場として有効に機能している。
6 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができている。
7 事故、事件、災害等に対して、迅速に組織的な対応ができる危機管理体制が整備されている。
8 本校においては、教職員の服務規律についての自覚は高い。
9 本校の教育課程は、生徒の適性や進路希望等に対応するように編成され、生徒や保護者、地域社会の期待や時代の要請にあった教育活動が行われている。
10 専門教科の特性を生かし、体験的学習と達成感を重視するとともに、個別指導等を行うなど、確かな学力を身につけることに、熱心に取り組んでいる。
11 各教科において、年間の指導計画や指導方法等について話し合い、基礎・基本の徹底を図り、教材を精選するなど、分かりやすい授業の工夫をしている。
12 生徒指導において、職員は共通理解のもと、家庭と密接な連携を取るなどして、遅刻指導、服装・頭髪指導等を粘り強く行い、基本的な生活習慣の向上に努めている。
13 紛失･被害･いじめ問題等の予防のため早期指導に心掛けている。
14 進路指導部と学年団等が密接に連携し、進路指導計画等について、意見交換や共通理解を図るとともに、進路情報の収集や提供を積極的に行い、きめ細かいガイダンスを行っている。
15 望ましい勤労観や職業観が身に付くよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行うとともに、生徒の適性や進路に適した資格取得に向けた指導をしている。
16 生徒、保護者に対して教育相談に関する啓発活動をするとともに、生徒の悩みにかかわる相談や不登校、学校不適応等について、学年団や教育相談部、外部関係機関と連携して、積極的に対処している。
17 全職員が人権尊重の意識を高め、人権に関する課題や指導方法、及び国際理解、意識の啓発についての認識を深め、共通理解を図っている。
18 人権・同和教育に関して、保護者への啓発を十分行うとともに、差別や偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。
19 生徒が主体的に参加し活動できるような、多様な学校行事を工夫している。
20 部活動を通して、生徒が充実感や達成感を得て学校生活を過ごすことができるよう、学校は、部活動活性化のための工夫をしている。
21 保護者や地域社会に対して、学校の教育活動を積極的に広報している。
22 保健室は、生徒が利用しやすいように環境づくりができている。
23 職員は、清掃指導に積極的に取り組み、清掃がいき届いているとともに、学校の施設・設備の整備や修理、安全点検がよくなされている。
24 情報機器、ソフトウエア、ネットワーク等の整備・管理は適切であり、コンピュータ等の情報機器が、授業その他でよく活用されている。